

共同事業「砂糖きび残渣（バガス）等を原料とする次世代燃料生産」に関する合意文書締結【実施報告】

インドネシア国営石油企業プルタミナNo.2のオキ・ムラザ取締役副社長(*1)、ハナ・ティモリ上級副社長と、JCCP 増田常務理事、野口次長、日本オイルエンジニアリング（株）原田主任が出席し、共同事業「砂糖きび残渣（バガス）等を原料とする次世代燃料生産」に関する合意文書を、2026年7月27日に締結しました。

本事業は、同国で大量に入手可能で、かつ、カーボンニュートラルに資するバイオマス(*2)を原料とした次世代燃料生産に必要な製造プロセス、バリューチェーン等について検討し、プロジェクト構想の立案を目的としています。AZEC（アジア・ゼロ・エミッション共同体）の取組の一環として位置付けられており、日本とインドネシアの関係強化に資することが期待されます。

*1 : Dr. Oki Muraza, Deputy President Director

2026年1月29日開催 第44回国際シンポジウムに登壇

*2 : 動植物由来の有機性資源

